

事務事業 No./名 称	■サービス部門 消防-10 車両購入事業						ザイムスコード及び個別事業名		
	□支援部門						239	車両購入事業	
主管課	警防救急課				関連課	240 車両購入事業			
分野名	地域安全								
目標 (目標値)	火災、各種災害等に対応できるよう、消防車両の更新及び車両の法定点検等の維持管理を図る。								
人口等の データ	データ区分	21年度	20年度	備 考					
	人 口	176,669人	176,484人	・各年4月1日 (住民基本台帳)					
	世 帯 数	78,131世帯	77,430世帯						
運営資源 状 況	決算値	94,206千円	87,658千円				指標と評価		
	(国・県)	50,421千円					指標	消防車両の更新	
	(負担金等)	38,200千円							
	(一般財源)	5,585千円	87,658千円				評価	◎	
	人員配置数	1.0人	1.0人						
	人件費	9,636千円	9,564千円				◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		
	協働の パートナー								
事務事業 運営経費	総事業費	103,842千円	97,222千円				20年度	5	5
	市民1人当 りの経費	588円	551円				21年度	4	6
	対象者1人 当りの経費						22年度	5	
ベンチマー ク(県内外自 治体や民間 団体との比 較値)	団体名	鎌倉市	横浜市	横須賀市	藤沢市	逗子市	23年度	6	
	ポンプ車数	9	140	21	16	5			
	救急車数	9	83	16	17	3			
	その他の車	18	370	51	58	9			
創意・工 夫・課題等 改善状況	課題・問題 点	(21年度事務事業を実施するうえでの課題・問題点は、どのようなことでしたか) 複雑多様化する災害に対応する最新車両、積載装備品の検討を行う。							
	創意・工 夫・課題等 の改善点 21年度の 成果	(課題・問題点についてどのような創意工夫、改善をしましたか。また、どのような成果がありましたか) 最新ホース延長資機材(乗車型電動ホースレイヤー)を導入する。迅速なホース延長ができる。							
	未解決の課 題・問題点	(21年度事務事業の取組において対応(解決)できなかったものはどのようなことですか) 特になし。							
	今後の方針 (対応・改 善)	(上記対応できなかった課題・問題点について今後どのように対応(改善)していきますか) 時代変化・災害状況の変化・各種資機材の開発等について研究・検討する。また、車両の更新時期を検討する。							
一次評価(課長評価)						二次評価(部長評価)			
A:充実又は拡大 B:現状のまま継続 C:統合又は縮小 D:廃止又は休止 E:事業完了									
評価結果	改善の必要性	今後は、車両更新時期の見直し検討と複雑多様化する災害及び地域の特性に対応できる最新車両を研究し更新していく。				評価結果	改善の必要性	複雑多様化する災害に対応できる最新車両を更新し、消防の責任を果たす。	
B	無					B	無		
課長名		斎藤 務				部名・部長名		消防本部 畑 光則	